



### 1 事業の目的

将来を担う子どもの健やかな成長を図るために、①地域社会の中で関係者の交流を通して、農林水産業が営まれることによって発揮される多面的機能の理解を深めること。②地域の食文化を体験し、郷土への関心を深め、望ましい食生活のあり方を理解してもらうことを提案して希望する小学校単位でテーマを「そば」と絞込み栽培から食までの内容でグリーンツーリズムを実施し、食農教育に取り組むことにより農林業・食生活への理解と将来の農業の担い手を育成することを目的としました。

### 2 取り組み小学校

治田小学校(北勢町) 員弁東小学校(員弁町) 中里小学校(藤原町)

### 3 事業内容

生活学習の時間を利用して学校の学習田を農家から借り、地域の農業の専門家(祖父母や両親である場合もある。)を講師として、土作りから耕起・作付け・収穫までの縮小版農業を実施し「そば」を栽培する。栽培された「そば」を学校の備え付けのそば打ち道具(各小学校20セット購入)で生徒がそば打ちを体験する。事業は当該年だけでなく以後において継続し、そばの定着を図る。  
「卒業生は、そば打ちの師範」

### 4 具体的な取り組み(代表校の内容)

- 6月** \* 「そば」について調べ学習  
そばづくりを始めるにあたって、そばに関する疑問を出し合い、インターネットや図鑑等を利用して調べた。内容はそばの種類、栄養分、育ち方、調理法等で、前もって調べた。
- 8月** \* 教師そば打ち体験実習…「うりぼう」にて
- 9月** \* 種蒔き(2日)
- 11月** \* 刈り取り(16日)・乾燥  
\* 粉碾き(28日)
- 12月** \* そば打ち(7日)  
6年児童 37人にて家庭科調理室にて実践。  
まず、講師の実演を見学し、そのあと2人1組でそば打ちに取り組んだ。ほとんどの児童は初めての経験であったが、多くの講師や手伝いの大人がサポートし、児童も真剣に聞いたことを行動に移せたため、予想以上によい麺ができあがった。ゆでたてのそばを食べた児童は「すごくおいしい」と、満足していた。



## 学習成果

- ・ そばの栽培から、そば打ちをして口に入るまでの過程をはじめて実際に体験し、新たな知識を得ることができた。
- ・ 調べ学習により、そばに対する興味・関心が広がった。
- ・ 地域の方にお世話になることで、自分たちの生活する地域にそばを育てたり、そば打ちを広めようとしている方の存在を知った。
- ・ 地産地消の意味を知り、いなべの農業について考えることができた。

### いなべ市情報誌「Link」

### 発行と編集 Vol.29

平成18年4月1日発行  
いなべ市役所 企画部 広報情報課  
〒511-0293  
三重県いなべ市員弁町笠田新田111番地  
☎0594-74-5819 FAX 0594-74-5822  
<http://www.city.inabe.mie.jp>

生活情報「まいめる」  
QRコード



モバイルサイト  
QRコード



## いなべマイタウン 募集しています!「いなべ還暦」野球クラブ



58才以上の方誰でも入れます。

当クラブは三重生涯(還暦)野球連盟に加盟しており、春秋のリーグ戦、長野での全国大会はじめ各大会に積極的に参加して楽しんでいます。

若い時、鳴した腕をもう一度試してみませんか。

大安町(服部) ☎78-1031  
員弁町(日紫喜) ☎74-2484  
北勢町(佐藤) ☎72-3606  
藤原町(林) ☎46-2428

提供者:代表 服部 明(大安町久下)様

### \*みなさまの身近なできごとをお知らせください\*

読者のみなさまから投稿をお待ちしています。また、いなべ市内で撮影された写真についても併せて募集していますので、どんどんお寄せください。

※古紙配合率100%  
再生紙を使用

